

第2回広報委員会次第

令和5年4月17日（月）

1 委員長開議宣告

2 議 題

(1) 議会だより第253号原稿の確認について

(2) 第1回広報委員会の日程について

(3) その他

3 委員長閉会宣告

まつど議会だより

発行/松戸市議会
編集/広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。

Z世代とともに!

SDGs×産学官民連携の 取り組みを進めています!



事業提案窓口の様子

SDGsの普及啓発のロゴマークを作成



デザイン制作者
山下萌子さん

千葉大学発のベンチャー企業(株)ミライノラボの学生研究員がデザインを制作しました。市の鳥「しらすぎ」が羽ばたく姿とハートをモチーフに「SDGsが多くの人に親しまれ、松戸市が発展してほしい」という思いと、Z世代が大切にしている「多様性を尊重する優しい心」を表現しています。

まつどSDGs×産学官民連携事業提案窓口を開設

多様な主体とともに、行政課題に取り組んでいくため、民間事業者や大学・研究機関等からの提案を募っています。

未来へ羽ばたけ!



●問い合わせ先
政策推進課市政総合研究室
TEL 047(704)4006

【意見書5件提出】

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、下記の意見書を提出しました。

- 認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書
- 新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取り組みの強化を求める意見書
- アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書
- 女性差別撤廃条約選択議定書の批准に向けた環境整備を求める意見書
- 食料安全保障の強化を求める意見書



第73代副議長
市川 恵一

3月定例会最終日に、市川恵一議員が副議長に選出されました。

副議長が選出されました

新型コロナウイルス感染症拡大防止への 取り組み

3月定例会においても、引き続き、換気、消毒の徹底等とともに、下記のとおり感染拡大防止策を図りました。

- 会派代表質問および個人質問は発言時間を通常の半分に短縮しました。また議案質疑は10分とし、予算討論は通常割り当てられた時間から換気時間分を短縮しました。

市議会トピックス

●令和5年度松戸市一般会計予算を修正

※詳細は3面に記載しています。

3月定例会

令和5年3月定例会を2月21日から3月23日まで開催しました。今定例会では、市長・教育長の施政方針等に対する各会派の代表質問を行いました。また市長から提出された教育委員会委員の任命議案1件、農業委員会委員の任命議案14件それぞれに同意しました。さらに4年度補正予算案10件を可決しました。

このほか市長から提出された5年度予算に関する議案12件や、条例などの一般議案15件、市民の方等から提出された陳情1件を、それぞれの委員会において審査しました。

5年度一般会計予算を審査する過程では、市長の提案する「美術文化関係事業」について、一部の予算措置理由が認め難いとして委員から修正案が提出され、審査の結果、修正案を可決しました。

最終日には、これらの案件のほかに議員提出議案11件を上程し、採決しました。

また副議長選挙を行いました。

(2・3面に審議結果、3面に予算審査の主な質疑、4面に討論を掲載)

■陳情・議員提出議案

Table with columns: 番号, 件名, 付託先委員会, 本会議の結果, 採決. Includes items like '子どもたちのために保育士配置標準の引き上げによる保育士増員を求める意見書' and '原発帰帰へ突き進む「GX実現に向けた基本方針」を撤回するよう求める意見書'.

Table with columns: 番号, 件名, 付託先委員会, 本会議の結果, 採決. Includes items like '防衛力増強より平和外交に力を尽くすよう求める意見書' and '新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取り組みの強化を求める意見書'.

令和5年度当初予算

Table showing budget details for '令和5年度当初予算' with columns for '会計名' and '予算額'. Total budget is 3,429,037,076千円.

予算規模は、前年度比 9億5,556万6千円 0.3%増

予算審査特別委員会の審査から

令和5年度予算(12会計)を可決 (名簿は8面に掲載)

一般会計予算の修正案を可決しました

一般会計予算の審査の過程において、

- ・シルバー人材センター運営費補助金等(理事長分件費)
・常磐線快速列車新松戸駅停車調査委託料他
・美術品管理業務(マイセン磁器展示関係経費)を削除する修正案と
・美術品管理業務(マイセン磁器展示関係経費)のみを削除する修正案が提出されました。

採決の結果、多数意見をもって両修正案の共通する部分である美術品管理業務(マイセン磁器展示関係経費)7,423万5千円を削除する修正案を可決しました。

●可決した修正案の提案理由

- ・高価で価値のある美術品等は展示や管理にも費用がかかり、また展示施設を人が入らないため撤退した文化会館のレストラン跡に設置するのは唐突に感じられ、市民から理解が得られないと考える。
・大きな負担を伴う寄付は地方自治法上の負担付きの寄付又は贈与を受けることに該当し、議会の議決を要する可能性があるため、認め難い。

総務費

寄附採納事業について、予算額を増額する理由を伺う。
本市はふるさと納税に対する返礼品等を500品目以上そろえているほか、寄付者の利便性向上のため、ワンストップ特例をオンライン申請で行えるサービスの導入を予定している。多くの方に本市を応援していただく体制が整ってきたため、予算額を増額した。

衛生費

新型コロナウイルス感染症の後遺症対策経費の内容を伺う。
後遺症を重篤化させない対応や医療機関へのかかり方などを掲載した市民向けの啓発リーフレットやポスターの作成経費と、医療従事者に向けた最新の科学的知見等を踏まえた専門家による講演会の開催経費である。
松戸駅東西口に2カ所、新たに公衆便所を設置するための設計委託について、その経緯を伺う。
平成24年に、本市とJR東日本、新成電鉄株式会社三者間で松戸駅バリアフリー施設整備に伴う覚書を締結しており、その中で公衆便所設置をうたっている。工事費高騰による遅延があったが、JR東日本が行う駅舎改良と同時に施工を行う予定である。

教育費

デジタル採点支援システム導入の経緯と効果について伺う。
学校で実施する試験の採点等を、ICTを利用することで、採点業務の負担軽減が図られると、採点結果の分析等が容易になるため、学習内容の理解状況を的確に把握することができるようにとなると考えている。また採点業務が効率化され、時間短縮が見込まれる。
マイセン磁器展示関係経費についてイニシャルコストとランニングコストを伺う。
初年度にかかる経費、イニシャルコストは総額6700万円である。毎年かかるランニングコストはギャラリ運営の委託料や防犯カメラの使用料等に約600万円、美術品の専用倉庫での保管費用440万円となる。

民生費

シルバー人材センターでの運営に問題があった場合、本市に指導等の権限があるか伺う。
公益法人への指導・監督権限は千葉県が有している。市は財政的支援は行うが、法人格を有する団体の運営に、指導・監督する権限はない。
子ども食堂の空白地域解消について、その進捗を伺う。
子ども食堂の空白地域については、数を増やすことで解消につなげたいと考えている。子ども食堂新規開設運営支援補助金等の効果もあり、市ホームページ掲載の子ども食堂の数は、令和4年4月の19カ所から28カ所に増加している。引き続き周知啓発活動を行い、関係団体との連携を図りながら、空白地域解消に努めたい。

土木費

市街地整備事業における①常盤平地域まちづくり検討委託料
②北小金駅周辺都市再生整備計画策定委託料の内容について伺う。
今後UR都市機構から都市再生に向けた事業等が示されると思うが、常盤平団地の再生にとどまらず、広い視野でまちづくりを進める必要があるため、同地域に関する上位関連計画の整理や地域の現状把握、新たなまちづくりの動向整理等を行った上で、まちづくり方針を検討するものである。
③北小金駅周辺地域のさまざまな資源を生かした魅力あるまちづくりを推進するため、同地域の課題を整理し、必要とされる個別の施策や住民の要望をまとめて将来ビジョンを検討し、都市再生整備計画の立案までを行うものである。

相模台地区 土地区画整理事業

土地区画整理整備事業の南側保留地造成及び擁壁築造工事について、工事の目的を伺う。
本工事は市道主21-68号の入口付近に、保留地整備のための擁壁築造が目的である。擁壁は、現時点で南側換地や相模台公園のアクセス向上を図るために、当該保留地付近にエスカレーター等の昇降設備を整備する予定となっていることから、当該保留地に利用者用の自転車駐車場の設置を想定し築造するものである。
南側保留地造成及び擁壁築造工事施工中に通行はできるか。
通行止めなどの大きな規制を伴わず工事が可能であり、車両等の通行に影響を及ぼすことのないよう努めていきたい。

予算討論

令和5年度予算案について、8人の議員が定例会最終日に討論を行いました。

ここでは、会派の討論を掲載します。
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、討論時間を通常割り当てられた時間から換気時間分を短縮することを議会運営委員会で決定しました。割り当てられた討論時間に応じた紙面配分で掲載しています。

市民クラブ

令和5年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、各特別会計および各企業会計に賛成する。

令和5年度の本市の財政の見通しについては、市税は過去最大となる見込みであるが、扶助費等の義務的経費の増加により経常的経費の比率が高く、依然として財政運営の自由度は高い状況ではないと思慮される。こうした中、行政サービスと財源の在り方、行政としての守備範囲を守っていくことが重要であると指摘する。加えて市民生活を守ることを最優先に、公共施設再編整備を精査ししっかりと取り組むことが重要と考える。一般会計の修正案として、森のホール21にマイセン磁器の展示ギャラリーを整備することについて、高額寄付の所有権移転時期や常設展示場の開設等予算案で提案された制度設計が適正か疑問が残る。また展示に多額の整備費がかかるだけでなく、その後も保管料等に年間1000万円かかる等、後年度まで続く負担であり、地方自治法第96条第1項第9号「負担付きの寄付又は贈与を受けること」に該当する可能性があることを指摘する。衛生費では、新焼却施設建設に向け環

境影響評価等が実施されるが、危機管理的にも市民に迷惑がからぬよう厳しく指摘し、事業の着実な推進を要望する。土木費では、松戸駅周辺地域活性化事業について、相模台地区土地区画整理事業と併せ、新拠点エリアの整備は、松戸駅周辺地域のにぎわいを生むためという目的と手段を間違えない提案を待ちたい。消防費では、訓練センターグラウンドが水はけの悪さにより使用不能とのことだが、訓練を行う重要な施設であることから、根本的な原因の調査をし、抜本的に改修、整備を要望する。教育費では、スポーツ施設整備調査業務委託について、明確なビジョンが示されていない。施設整備を急ぐのではなく、長期的な視点に立った検討を要望する。その他の事業予算についても、一般会計からの繰入金および負担金等になるべく依存しない体質の強化に努めるよう要望し賛成する。

公明党

令和5年度一般会計の修正案に反対し、修正案を除く原案、各特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計では、個別事業として女性のためのつながりサポート業務、子育て世帯訪問支援業務、子ども医療費助成の現物給付、ひとり親家庭への支援、放課後KIDSルームと放課後児童クラブの一体型への推進、新型コロナ後遺症対策、結婚新生活住宅支援の拡充など、これまで主張してきた内容が随所に盛り込まれており、本予算を高く評価するとともに、事業効果に期待する。衛生費では、若年がん患者支援事業の開始を評価する。また、ごみ減量促進啓発業務の「有害なごみ」専用袋の作製と、市民への無料配布は収集作業員の安全性の向上等につながるため評価する。土木費では、21世紀の森と広場における公衆無線LAN環境整備を評価する。消防費では、災害時防災情報テレフォーン・FAXサービスシステムを、災害時

に情報伝達手段を補充できるシステムとして、新たに導入することを評価する。次に一般会計の修正案では、美術文化関係事業のマイセン磁器展示関係経費の削除が提案された。このマイセン磁器は市民の方から芸術文化の振興に活用してほしいとの申し出により、市が寄贈を受けたもので、磁器を広く市民に公開したいという判断は、文化の香りのする街を目指す本市としては至極当然のことと考える。本予算は修正削除すべきではないと強く修正案に反対する。病院事業会計では、新型コロナウイルス感染症の5類への移行を踏まえた入院収益の増加に向けた取り組みを評価する。また診療単価についても、2900円増額の7万8200円と設定し、新たな急性期充実体制加算の施設基準の取得にも取り組んでいることを評価する。

はつるぎ

令和5年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、各特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計については、マイセン磁器展示関係経費において、設置場所が展示目的の対し最適であるかどうか疑義が晴れないため、また設置場所の最適性に疑義がある以上、過重な財政負担であると判断せざるを得ないため修正案を提出した。総務費では、人権啓発推進事業において令和5年4月1日からファミリーシップ制度の導入となる。引き続き多様なパートナーシップ・家族の在り方に対する社会的理解が広がり、誰もが自分らしく生きることでできる社会の実現を求める。民生費では、シルバー人材センター運営補助金等については、委託先や補助先における法令順守を要綱に明示するなど、ハラスメント防止対策を講じるよう強く要望する。競輪特別会計では、平成17年度から令和3年度は、繰入金を社会福祉や子育て支援、学校教育、土木事業等、さまざまな事業の財源として活用しており、5年

度は、さらに松戸手当のほか花火大会にも活用されるということもあり、広く市民に寄与していることを評価する。その他の一般会計、特別会計、各企業会計の全ての予算案について妥当であると判断し賛成する。

日本共産党

令和5年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、国民健康保険、競輪介護保険、後期高齢者医療、松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業、相模台地区土地区画整理事業特別会計、病院事業会計に反対し、その他特別会計および企業会計に賛成する。

総務費では、寄附採納事業のふるさと納税が好調だが、過度な返礼品競争のようになっている今の在り方に疑問がある。民生費では、放課後児童クラブについては、施設のさらなる拡充と、支援員の処遇改善を引き続き求める。土木費では、松戸駅周辺地域活性化事業として新拠点ゾーンの土地取得が進んでいるが、市役所移転を含むもので適正な手続きとは言えず、相模台地区土地区画整理事業特別会計と併せて反対する。教育費では、使用頻度の低い小学校コンピュータ室のパソコン撤去は評価するが、一人一台タブレットのリース料などに毎年数億円かかっている。最も必要なのは、異常な教員不足の早急な解消であり、市の抜本的な対策を強く求める。以上、評価すべき点はあるものの、市民生活の根幹に関わる多くの点について問題点、課題を残しており反対する。

政策実現フォーラム・市民

令和5年度松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に反対し、一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、後期高齢者医療を除くその他特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計では、シルバー人材センター運営補助金等、常磐線快速列車新松戸駅停車調査委託料他、マイセン磁器展示

立憲民主党

令和5年度松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に反対し、一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、その他特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計では、シルバー人材センター運営補助金等、常磐線快速列車新松戸駅停車調査委託料他、マイセン磁器展示関係経費を削除する修正案を提出したが、マイセン磁器展示関係経費のみ削除となった。修正案を除く原案は、市民の命と暮らしを守る市民生活に必要な予算であるため総合的に判断し、賛成する。まず財政について、令和5年度松戸市当初予算のポイントに、管理職比率の低減等により93億円改善していると記載があるが下水道事業の自然減によるものが大きい。作成の際には、大きな影響を及ぼした内訳を記載するよう指摘する。消防費では、救急活動における心拍再開率向上のため、心肺蘇生法の実施等、講習会やSNSを通じた広報を評価する。教育費では、学校給食費の無償化について給付対象者を広げる検討を要望する。

委員会の審査から

2月22日・3月7日・8日・10日に各委員会を開催し、提出された議案等について審査しました。

ここではその審査の中での主な質疑・答弁(要点)を掲載します。

総務財務常任委員会

議案第60号 令和4年度松戸市一般会計補正予算(第9回)

○ 保育施設における補助金等を不正受給した社会福祉法人に対して、行政指導を実施したとのことだが、法人における改善策の内容を伺う。

○ 不正に受給した補助金等に加算金を含め速やかに返還すること。また給与計算等の入力業務は専門的な会社に外部委託し、提出書類の作成については施設長や主任も業務内容を把握し、複数でのチェック体制を構築することで、管理・監督を行う組織体制を再構築していくと報告がされた。

○ 小中学校冷房化事業について、事業内容およびスケジュールを伺う。

○ 事業内容としては、理科室や図工室等の特別教室、中学校のランチルーム、通級指導教室や特別支援学級のプレイルーム等に空調設備を整備する。教室数は小学校321室、中学校212室の合計533室および中学校19校のランチルームを見込んでいる。整備期間については、令和5年秋ごろから6年3月末までを予定している。

健康福祉常任委員会

議案第68号 令和4年度松戸市病院事業会計補正予算(第3回)

○ コロナ禍での松戸市総合医療センターにおける医療収益の減少理由について伺う。

○ 新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として専用病床を確保し、積極的な対応に努めてきたため、通常医療に対応可能な稼働病床数が縮小していることが主な要因と考える。

議案第93号 松戸市介護保険事務等委託業務事業者選考委員会条例の制定について

○ 介護保険事務等委託業務の詳細と、その効果について伺う。

○ 介護認定申請数の増加は、窓口や電話対応、システム入力、通知の発送のみならず、全ての業務量に直接影響を及ぼすが、職員数には限りがあり、事務窓口、電話対応等の定型業務を可能な限り委託することで、業務量の増加へ対応する。またプロポーザル方式により事業者を選定するため、他自治体における実績等の提案を受け、より効率的な業務を実施できるものと期待している。

教育環境常任委員会

議案第86号 松戸市戸定歴史館条例及び松戸市立博物館条例の一部を改正する条例の制定について

○ まつどデジタルミュージアムを開設したが、どのような形で利用されているか伺う。

○ まつどデジタルミュージアムは、登録された所蔵資料を検索できるほか、デジタルマップ、3Dコンテンツ、VRバーチャルツアーなど、さまざまなコンテンツを用意し、所蔵資料の鑑賞や体験機会を提供している。今後もデジタルアーカイブ化を進め、大切な資料の保存・整理を行いながらコンテンツの充実を図っていく。

議案第95号 契約の締結について(松戸市立東部小学校屋内体育館新築工事)

○ 体育館の床に多目的弾性シートを導入した経緯と、従来の床材と比較した際の費用を伺う。

○ 導入にあたり、すでに導入済みの千葉県内外の施設を視察し、問題なく使用できていることを確認している。初期費用は1割ほど高くなるが、水拭きができワックスがけが不要で清掃しやすい点やメンテナンス性が良い等を考慮し導入した。

建設経済常任委員会

議案第62号 令和4年度松戸市松戸競輪特別会計補正予算(第1回)

○ 民間ポータルサイトの①売上金額②1人当たりの売上金額の推移について伺う。

○ 令和5年2月現在の総売上金額286億8343万6600円のうち、民間ポータルサイトの売り上げが194億6236万7900円で約68%を占めている②平均購入額は、平成30年度5855円、令和元年度6329円、令和2年度6100円、令和3年度5785円、令和4年度2月現在で6112円となり、開催規模等により多少の増減があるが、同水準で推移している。

議案第85号 松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

○ 建築物の屋上にこれまでの高さ制限を超えて、高効率の熱源設備等の設置が可能となるが、近隣住宅が日陰になる等の周辺への影響はないか。

○ 日影規制や北側斜線を従来通りクリアしなければ、本改正による特例許可はできないため、周辺環境に影響を与えることは想定していない。

一般質問

3月1日・2日にわたり、市長・教育長の施政方針等の内容を中心に市政に関する一般質問を行い、6会派が代表質問を、会派に属さない議員5人が個人質問を行いました。その中から主な質問と答弁の内容をお知らせします。代表質問は、会派の構成人数により決まる発言時間に応じた紙面配分で掲載しています。

一般質問の発言時間の短縮について

今定例会においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問の発言時間を通常の半分に短縮することを議会運営委員会で決定しました。

市民クラブ

末松 裕人

定年延長制度導入に伴う人件費の推移について

○ 今後、本市の人件費に与える影響および人事構成のスキームにおいて活力ある組織をどう維持するかの見解を伺う。

○ 国家公務員法および地方公務員法の改正に伴い、令和5年4月から地方公務員の定年年齢が2年ごとに1歳ずつ段階的に引き上げられた。65歳定年となる14年度と4年度当初予算を比較すると約3億円の増額となる見込みである。活力ある組織の実現として、定年引き上げの趣旨である複雑高度化する行政課題への確かな対応等の観点から、能力と意欲のある職員を最大限活用していくものとしており、また次の世代に知識・技術・経験等を継承していくため、60歳を迎えた職員については、経験を生かせる配置等に努めるとともに、モチベーションを保つため研修等を実施していきたい。

病院経営の現状評価と課題について

○ 市立東松戸病院の廃止が決定し、病院事業再編に係る諸問題の解決に向けた新たな段階に進むことになるが、現状課題と今後の展望、地域課題について伺う。

○ 市立総合医療センターについては、令和3年度は経常損益を黒字化することができ、これは医療収益の拡大に取り組んできた成果でもある。今後の展望、課題としては、新型コロナウイルス感染症の感染症法の分類が5類に引き下げられることから、通常医療を行える病床を拡大し、さらなる経営改善につなげていきたい。また東松戸病院・梨香苑からの機能移転については、スタッフの異動計画を策定するとともに、別棟建設に向けた基本設計を進めており、病院機能を高めていきたい。廃止後の跡地活用について

は、地域に喜んでいただけるように取り組んでいきたい。

市街化調整区域における土地利用方針の策定について

市街化調整区域の土地利用を考えると、本市を持続可能な都市としての成長には必要不可欠だと考えるが、土地利用方針の策定についての見解を伺う。

本市の市街化調整区域は、地区によってその成り立ち等が異なり、地区に応じた土地利用の考え方や方針を示す必要があることから「松戸市都市計画マスタープラン（市街化調整区域編）」の策定に向け検討を進めている。今後は地権者アンケートのエリアの絞り込みと松戸市都市計画審議会での議論や庁内関係部局とも連携を図り、市の政策との整合性を踏まえ、令和5年度に方向性を示すことができるよう取り組んでいく。

デジタル社会の実現について

松戸市が目指すデジタル社会の構築について、全体像や課題と外部の人材の活用について見解を伺う。

本市が目指すデジタル社会の構築の全体像としては、松戸市行政デジタル化ビジョンの基本方針に示すとおり「はなれていてもつながる」「スマート市役所」「はやく・シンプル・セキュア」なスマート行政、「安全・安心・便利・快適」なスマートシティを目指すものである。主な課題は事業者のシステムエンジニア不足が全国的な課題であると認識している。外部人材の活用については、データ活用や新たな価値を創出する従来の自治体職員にはない考え方が必要であるため、本市ではコンサル事業者に全体的な支援を委託し事業者との協議や指揮も適切に対応できているものと考えている。今後外部の専門家の登用については継続して検討を行っていくが、内部からの人材育成も重要であると考えている。職員に対する専門性の高い研修も予定している。

教員の働き方改革について

学校現場の多忙化の要因と解消するための方策について見解を伺う。

教職員の多忙化については授業準備や保護者対応、部活動等、本来の勤務時間内では終わらないほど業務過多になっていることが一因であり、教員不足も多忙化に拍車をかけている。そこで市教育委員会では、教職員を支援する人材派遣として、市内全小中学校へのスタッフ配置を継続するほか、スクールソーシャルワーカーやICT支援員の増員により、教職員の多忙化解消を図っていく。またテスト自動採点システムの試験的導入、地域人材の活用、学年担任制や教科担任制の推進等により、教職員の負担軽減に努めていきたい。

公明党

鈴木 智明

子どもたちの安全安心の確保について

市が設置する街頭防犯カメラの設置場所については、地域の意見を踏まえ決める必要があるが、設置場所の選定方法は、また市役所内の関係部署、地域との連携強化について考えを伺う。

街頭防犯カメラの設置場所については、子どもの見守り・安全安心を中心に据えた取り組みとして、設置要望のあった通学路に加え、公園や塾など子どもが多く集まる場所や親の目から離れやすい経路に設置を進める。なお設置場所の選定に当たっては、より多くの意見、要望を伺い、優先順位をつけていく。また市役所内の関係部署や地域との連携については、本市では防犯活動を効果的に実施し、犯罪ゼロのまちづくりを推進するため松戸市警防ネットワークを設置している。自主防犯活動やパトロールの実施等、さまざまな活動を進めているが、今

後さらに子どもたちの安全確保のための防犯体制の強化や防犯対策の啓発等の連携を図っていく。

学校施設環境の改善について

学校体育館にエアコンの設置を進める考えは、また今後のプール指導の在り方やプール施設改修計画について伺う。

体育館の空調設備については、児童生徒が快適な学校生活を過ごす上で、また避難場所として設置が望ましいことは十分認識している。整備規模も大きく、体育館の電源等の問題もあるが、事業の導入方法やコストについて検討していきたい。また小学校のプールについては、民間施設や市民プールの活用を検討や拠点校プールを集約化の上整備し、複数校での使用を検討していく。中学校については、水泳の実技授業を教育課程からなくす方向で議論しているところである。

アピアランスケアの充実について

千葉県の助成制度を活用し、がん患者のウィッグ購入費および乳がん手術で胸部補正具を購入した費用の助成事業を開始すべきと考えが本市の見解は。

がん患者が自分らしい生活の質を保ちながら過ごす支援として、外見の変化による患者の苦痛を軽減するアピアランスケアが重要視されていることは認識している。ウィッグおよび胸部補正具の購入助成については、本市としても、助成内容、助成回数など実施に向けて具体的な準備を進めていきたい。

ヤングケアラーの支援拡充について

家族の世話をしている子どもたちを支援できない、孤立している子どもたちを支援する体制が必要と考える。ヤングケアラーの支援拡充として本市の現状と課題、今後の方向性について伺う。

本市の現状を把握する取り組みで

は、子ども家庭相談課が把握したヤングケアラーと疑われる児童について、家庭への支援により改善に至った状況もある。しかし短期的な支援では改善が難しいことから、関係機関の協力の下、サービス導入による家事負担軽減等、個々の状況に応じた当事者および家庭に寄り添った支援を継続して行う。課題については、千葉県の実態調査によると、当事者にその自覚が乏しく、家族以外に相談した経験が少ない等の傾向から、当事者把握の困難性が課題の一つと考えている。併せて差別やいじめにつながるリスクもあり、慎重に進める必要があると考えている。今後の方向性については、既存の養育支援訪問事業や子どもの自立支援事業を活用しつつ、子ども家庭相談課が調整機関として、障害・高齢・教育分野との関係機関連携を深め、早期発見につなげるとともに、県の取り組み等を参考に支援施策の方向性を含め取り組んでいく。

令和5年度予算について

令和5年度予算について、過去最大の税収を見込んだ理由を伺う。

市税収入について、過去最大となる722億2千万円を見込んだ主な要因は、市民税と固定資産税によるところが大きい。個人市民税においては各種統計結果を参考に平均給与収入等の増加を見込み、法人市民税においては企業収益が回復傾向にあることを鑑み、市民税全体で約15億6千万円の増額を見込んでいます。また固定資産税においては新築家屋の増加等により約4億3千万円の増額を見込んでいます。以上から全体で22億9600万円、3.3%の増加を見込んでいます。

子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくりについて

子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくりについて

子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくりについて

妊娠前の不妊治療から出産・子育てに至る切れ目のない支援について伺う。

妊娠前の支援充実のため、令和5年度から体外受精等の保険診療と併用して行った先進医療について、新たに助成を行い経済的負担の軽減を図っていくことについて伺う。

また妊娠・出産後の支援についても、孤立解消を図るためのマイ・サポート・スペース事業、子育てに関する相談・経済的支援を行う出産・子育て応援交付金事業、保育施設等の給食費の第2子半額・第3子無償化等、現状の課題に応じた新たな取り組みを実施していく。今後も引き続き、本市の子育て世帯のニーズ等を注視し、子ども・子育て支援をより一層充実させていきたい。

公共施設の再編について

公共施設における再編整備について概要を伺う。

本市では平成29年3月に「松戸市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設等の管理等に関する基本的な考え方や取り組みの方向性とともに公共施設を全て建て替えることを前提とした概算費用を示した。令和4年3月に策定した「松戸市公共施設個別施設計画」においては基本的な考え方は変えず、施設ごとの具体的な取り組み内容を定め、元年度から10年度までの改修等に係る事業費を約682億円と見込み直した。現在は個別施設計画の進捗管理に係る取り組みと併せ、総合管理計画の見直しに着手したところである。今後も市全体のまちづくりの状況等を勘案しながら、安全で安定した公共施設サービスの提供を維持することができるよう、取り組んでいく。

日本共産党

宇津野 史行

マイナンバー関連業務における超過勤務の実態と課題解消について

全国的に、マイナンバー交付業務による多忙化が問題となっている。本市も異常な事態が続いており、2023年1月から改善を始めたことだが、どのように改善されたのか。また2022年12月に改善要望が出るまで、改善の検討がなかったのかについても伺う。

令和4年4月に申請交付の専門窓口を開設した際、時差出勤など勤務形態の変更を検討したが、それを補完する会計年度任用職員の確保が進まず職員負担が増加した。そこで5年1月から市民課全職員で準備作業を行うなど負担軽減策をとった結果、担当職員の時間外勤務は、1月の月平均が66・8時間、2月は21日現在で平均43・0時間と減少した。

放課後児童クラブの充実について

放課後児童クラブの面積基準は児童1人当たり1・65㎡だが、本市の算定方法について伺う。また学校内での施設利用のため、共通ルール化など施設の安定的確保に向けた検討はできないか伺う。

施設面積の算定としては、延床面積からトイレ、台所等を省いた専用区画を対象としている。また学校施設借用にあたっては、学級数の増減で教室編成が変わるため、長期的に同じ部屋を借用することは困難だが、学校側にも最大限配慮し協力してもらっている。

教員不足の解消に向けた一歩踏み込んだ対応について

教員不足解消に向け、授業を受け持つことができる教員を市独自で緊急に確保する考えはないか、市の見解を伺う。

市教育委員会としても、教員不足は大きな課題と認識しており、千葉県教育委員会に申し入れを行うとともに、市費で会計年度任用職員を増員するなど影響を最小限にとどめるよう努めてきた。市独自で教員を採用する場合、費用負担はもとより、採用試験や育成研修等のシステム化も含めた制度設計を行う必要がある。

ある。そのため、現状では教員採用は県教育委員会で行うものと認識しており、市独自の制度は検討していない。東葛飾地区の他自治体と連携を図り、引き続き県教育委員会へ要望をしていきたい。

政策実現フォーラム・社民

原 裕一

電気使用料金高騰への対応について

2021年にオープンしたひがまつテラスでは太陽光発電装置による発電の全てが自家消費され、電気料金が高騰するほど自家消費のメリットが出ている。環境・経済の両面からも再生可能エネルギーを活用するために、市施設への導入可能性調査を実施すべきと考えるが市の見解について伺う。

再生可能エネルギーの導入可能性調査は、施設のポテンシャルおよび設備の導入手段等を把握するための有効な手段であり、他の手段も含め検討していきたい。導入には各施設の担当課などの協力が必要のため今後連携していく。

再生可能エネルギーの普及促進について

本市最大の発電をしている和名ヶ谷クリーンセンターのごみ発電について隣接するスポーツセンターへの送電と自家消費は実現しているが、余剰電力である売電量はまだまだ多い状況である。この余剰電力を市施設に送電し、自家消費する考えはないか伺う。

和名ヶ谷クリーンセンターで発電した電力については、市有施設へ送電するための送料金や、送電量と使用量との差分によって発生するインバランス料金の負担等を検討した中で、現状の入札による売却が最善であると考えている。

スポーツと地域振興について

令和5年度に新組織「文化スポーツ振興担当室」が経済振興部にぎわい創造課内に設置されるが①文化スポーツ振興施策を所管する組織を市長部局内に設置する理由・目的②担当室の体制としてのプロスポーツ誘致に向けて具体的な体制として③動くのかについて市の考えを伺う。

文化スポーツの振興は、地域振興や地域経済の活性化にもつながることから、市長部局・教育委員会が一体となり、効果的な施策の展開に向けた取り組みを進めていく。担当室の体制は管理職を含め5人程度とし、市長部局と教育委員会の懸け橋となつて検討協議を進めていく。またプロスポーツチーム等誘致に向け、まずは課題の洗い出しを行い、課題解決のための考察を行っていく。

立憲民主党

二階堂 剛

まちづくりに対する基本的な考え方について

空き家を活用した移住への取り組みについて本市の考えを伺う。

マイホーム借上げ制度の啓発のほか「不動産団体による相談業務」「空き家に関する講演会及び個別相談」等に取り組んでおり、空き家の活用については専門家と協力しながら利活用の促進について引き続き検討していく。移住の促進については松戸市総合計画において位置付けており、空き家を改修して店舗やオフィスに活用している事例をPRする等、多様なライフスタイルの実現に向けた取り組みを進めていきたい。

保育園における不正受給の報道について

市内の保育園において不正受給が行われていたが、再発防止策等を伺う。

令和3年度分については、市内全保育施設から賃金台帳に加え、源泉徴収票の提出を求め支給額が一致していることを確認していく。5年度からは、施設から職員に支払われる処遇改善等加算の額を給与明細に記載することを施設に求めるとともに、年度末に支給額に間違いがなかったか本人に確認・署名を求めることで不正受給の防止を図っていく。

平和教育について

平和教育について市内小中学校の取り組みの現状を伺う。

平和に関する教育は、さまざまな教育活動において行っており、各学校では総合的な学習の時間を核として、社会科学等の教科の中で平和に関する学びを深めている。また市が主催する「平和語り部」「平和大使長崎派遣事業」では、戦争の悲惨さや命の尊さを学ぶことや、現地で被爆の実相を知ること等に取り組んでいる。今後も児童生徒が持続可能な社会の創り手となることができるよう、学校教育と社会の連携・協働により平和教育も含めた教育活動の充実を図っていく。

無所属

鳴原 舞

市民との松戸市総合計画の共有について

松戸市総合計画について、市民に向け今まで行ってきた周知の仕方および今後どのように周知していく予定か伺う。

松戸市総合計画は、策定時に市民から意見をいただくことを目的に多くの市民参加企画を実施したことが特色の一つである。策定後は支所等への配布、ホームページへの掲載のほか、広報まつど特集号を全戸配布した。今後は設定した数値目標・重要業績評価指標(KPI)を毎年検証し、その結果をわかりやすく公表するなどを進捗管理および評価について市民との共有を積極的に図っていく。



無所属

湯浅 文

松戸市虐待防止条例について

本条例が施行されて、3年が経過しようとしているが、虐待に対してどのような効果があったのか伺う。

本条例の理念に基づき、令和4年度には福祉に関わる専門職を対象として児童、高齢者、障害者に対する虐待の通報受理から支援終了までの流れの共有等について研修会を実施した。研修後は学びを生かし早期に関係機関と連携を図り、世帯全体の虐待防止に取り組んだ事例もあった。また市民向けの講演会を実施し、虐待への理解促進につながったと考えている。今後も虐待防止に関する普及啓発に努め、関係機関と連携をさらに強化し、虐待のないまちの実現を目指していく。

無所属

山中 啓之

子どもの命と安全を守る 保育・教育行政について

市立以外の公的機関に通う子どもの命を守る上での、課題と改善しうる点について伺う。

千葉県が所管する幼稚園等の施設については県と情報共有し、通報等には内容により本市が直接聞き取り調査等を実施している。認可外保育施設については、利用支援コンシェルジュが巡回し、県に保育状況等の情報提供を行い協力している。市立小中高等学校以外に通学させている市民からの教職員への指導に関する相談は、じっくり話を聞いた上で県の担当を案内している。



無所属

中村 典子

不妊治療について

図 経済的な負担軽減を含めた、不妊治療における先進医療の助成について市の考えを伺う。

図 令和4年4月より体外受精などの基本治療が全て保険適用となったが、先進医療は自費診療となっており、当事者の経済的負担は大きいと推察している。保険適用後の課題について、4年11月に松戸市母子保健連絡協議会で産婦人科医等の有識者と意見交換を実施し、市民の方からの声も踏まえ、不妊治療の先進医療にかかる経済的負担を軽減するための5年度予算を計上した。また今後はエビデンスの認められた先進医療は、順次保険適用されるものと見込んでいます。

無所属

大橋 博

児童生徒の学校給食について

図 学校給食の食材としてコオロギなど昆虫を使用することについて、本市の考えを伺う。

図 コオロギなどの昆虫食の使用については、徳島県立小松島西高校において、食物科の生徒が授業の一環として研究し、全国で初めて自校の給食に取り入れたものであり、学校給食の食材として一般的に使用しているものではないと認識している。市教育委員会としては、新しい食材として市場に出始めたばかりの物であるため、食物アレルギーや安全性等に関する情報が少ないことから学校給食の食材としての使用は考えていない。



松戸市議会表彰

令和4年度、松戸市議会表彰を行いました。この表彰は、スポーツ・学術・文化・社会活動等で、特に功績のあった個人・団体に對し、松戸市議会が表彰を行い、その功労に報いるとともに市民の郷土愛を育むことを目的としています。

※令和4年度の表彰式は、感染症の拡大防止のため執り行わず、2月28日の本会議において、受賞された皆さまを議長から紹介させていただきます。

個人表彰

吉田 梵愛 (市立古ヶ崎小学校)

第39回全国少年少女レスリング選手権大会 女子の部 5年生33kg級 優勝

大谷 凌斗 (市立矢切小学校)

第39回全国少年少女レスリング選手権大会 小学生の部 5年生26kg級 優勝

団体表彰

市立松戸高等学校 弓道部

第41回全国高等学校弓道選抜大会 男子団体 優勝

市立小金中学校 吹奏楽部

第28回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学校B部門 最優秀賞

市立第三中学校 吹奏楽部

第28回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学校A部門 最優秀賞

市立第四中学校 吹奏楽部

第28回日本管楽合奏コンテスト全国大会 中学校B部門 最優秀賞

県立小金高等学校 吹奏楽部

第11回日本学校合奏コンクール2022 全国大会グランドコンテスト 高等学校の部 金賞

市立松戸高等学校 吹奏楽部

第28回日本管楽合奏コンテスト全国大会 高等学校A部門 最優秀賞

6月定例会の開催予定

令和5年松戸市議会6月定例会は、6月9日(金)から6月27日(火)まで、いずれも午前10時より開催する予定です。請願・陳情は、5月31日(水)正午が提出期限です。

日程	主な内容
6月9日(金)	招集日・本会議(議案提案理由説明)
12日(月)	本会議(一般質問)
13日(火)	〃(一般質問)
14日(水)	〃(一般質問)
15日(木)	〃(一般質問・議案質疑)
16日(金)	〃(一般質問・議案質疑)
20日(火)	総務財務常任委員会
21日(水)	健康福祉常任委員会
22日(木)	教育環境常任委員会
23日(金)	建設経済常任委員会
27日(火)	本会議(議案等の採決)

※ごはか随時、委員会が開催される場合があります。また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等で確認ください。
議会傍聴についてはお問い合わせいただくかホームページで確認ください。

●問い合わせ先 市議事務局庶務課
TEL 047(366)7381

人事案件

教育委員会委員、農業委員会委員の任命に同意しました。(敬称略)

●教育委員会委員
武田 司

●農業委員会委員
雄子 司 宣克 平久
輝 洋 勇 嘉 敏 昌 博
口 邊 浦 張 田 浦 上
山 渡 杉 戸 相 杉 川

夫 弘 一 勝 治 一 子
忠 慶 孝 定 和 榮 万
佐 邊 浅 山 来 木 藤
岩 渡 湯 横 渡 鈴 加

声の議会だよりをご利用ください



松戸朗読奉仕会の協力を得て視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物を提供しています。

●問い合わせ先
松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)
TEL 047(383)7111

松戸市議会の情報をホームページで公開しています

本会議の様子は「インターネット議会中継」でご覧いただけます。



議会中継

編集の窓

社会、経済に大きな影響を及ぼしたコロナ禍も、5類感染症への移行により、日常を取り戻す重要な転換期を迎えています。実に4年ぶりとなる市内各地のさくらまつりも開催され、各団体の行事やお祭りなどの地域活性化に向けた取り組みを徐々に展開していき、にぎわいを取り戻していくことを願っています。さて、松戸市議会では市長から提出された議案につきまして、一部修正はありましたが、全ての議案が可決されました。議員一人一人が、熱心かつ慎重な議論を重ね、適切な結論を得られたものと感じています。本郷谷健次市長をはじめ、執行部の皆さんには、委員会の審査過程で指摘された事項等について、今後の市政の推進に十分に生かしていただきたいと思えます。

次回発行予定は8月1日(火)です



スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。

予算審査特別委員会委員

委員長	石井 勇	副委員長	高橋 伸之
	芦田 満		大和山 太郎
	ミール E		戸張 友子
	D 松 尾 尚		岡本 優
	深 山 一		大谷 茂